

# 令和2年度鹿児島学習定着度調査の結果について

鹿児島市立花尾小学校

令和3年1月に5年生を対象（令和3年度6年生）に実施した鹿児島学習定着度調査の結果について、公表します。各家庭でも家庭学習のあり方の参考にしてください。

## 1 鹿児島学習定着度調査の目的

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力の状況及び児童の学習に関する意識や学び方などの学習状況の把握
- (2) 全体の状況把握、個に応じたきめ細かな指導方法の工夫・改善

## 2 調査の対象学年

小学校第5学年（中学校第1学年、第2学年）

## 3 本校児童の実態（全体分析）

- 算数・理科の2教科が、県・市の平均通過率を上回っている。中でも、理科については県平均を、3ポイント近く上回り、定着が図られている。逆に社会は3ポイント下回っている。

## 4 本校児童の課題と今後の取組

### 【国語】

#### ■ 課題

・ 文章と図や表、写真等の資料を関係付けて読み取ることがを苦手としている。

・ 段落相互の関係を考え、文章を読むことを苦手としている。

・ 4年生で学習した漢字の書き取りが出来ていない。

#### ◎ 今後の取組

・ 問題を解く際に、設問の重要箇所をサイドラインを引いたり、印を付けたりして、読みの視点や解答を導き出すための手立てを具体的に指導する。

・ 授業時に意図的に具体的な問題や条件を出して文章でまとめることを多く行なう。

・ 文章と図や写真、グラフなどの関係やその効果を考えさせて、文章を書かせる指導を行う。

### 【社会】

#### ■ 課題

・ 文や写真・グラフ・地図等の資料をもとに文章で説明することを苦手としている。

#### ◎ 今後の取組

・ 調べたことや分かったことを文章にまとめたり、発表したりする活動を増やす。（ガイド学習を行なう際にも、自分たちで進められるようにガイド学習の充実を図る。）

・ 授業で、教科書や資料集等の資料を活用し、なぜそのようになったのかを常に思考させる。

### 【算数】

#### ■ 課題

・ 複数の表やグラフ、文章を関連付けて答える問題を苦手としている。

・ 基礎・基本的な知識・技能が身に付いていても、それらを活用し、じっくり思考すること、表現することを苦手としている。

#### ◎ 今後の取組

・ 既習事項も時間が経てば忘れるので、関連する内容を意図的に取り上げて、学び直しの機会を多く取り入れる。

・ 授業で活用的な問題に挑戦させる機会を多く設定し、活用的な力を育むことに力を入れる。

### 【理科】

#### ■ 課題

・ グラフで示された実験結果を関係付けて考察することを苦手としている。

・ 4年で学習した基礎的な内容について、忘れていていることがある。

#### ◎ 今後の取組

・ 実験や観察結果を自分の言葉で簡潔にまとめ、結論を導き出す学習等に取り組む。

・ 学習したことを身近な生活の場面に関連付けて、科学的に考えさせる場を設定するとともに、下学年で学習した単元・題材についてはオリエンテーション時に振り返りを行う。

・ これまでと同様に、低学年の先生や教頭を動員して、複式授業を解消し、単式の学習指導で分かりやすい理科の授業を実施する。

### 【学校全体で取り組むこと（改善策）】

- 課題発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを単元題材に位置付ける。

・ 思考・判断を促す発問の工夫、考えを児童同士が説明し合う山場の工夫、思考過程が分かる板書の工夫等

- ドリルタイム（業間）と学習チャレンジタイム（毎月土曜授業日1校時）で、知識技能の活用や習熟に取り組む（プリント共有棚の活用）

・ 鹿児島チャレンジ・アシストシート等を解く・ 短い意見・報告文・礼状・本の紹介文を書く

- 児童がICTを積極的に活用する授業を展開する。（タブレットパソコン等の活用）

- 家庭と連携し、児童が調べたり文章を書いたりする「宿題」（家庭学習）を実践する。

